

## (2) 地域企業との連携推進

### 1) 久留米工業大学地域連携推進協議会

#### ◆ 設立目的及びサービス内容

地元企業の皆様と久留米工業大学との連携を深め、地域産業の活性化、新技術の創出及び会員の技術力向上等を図り、地域の発展に寄与することを目的として平成26年3月に設立された協議会です。

#### ◆ 事業内容

##### ① 企業ニーズの発掘

会員企業様には、コーディネーターを派遣し、企業様のニーズを伺います。また、必要に応じて専門分野の教員を訪問させ、一緒に検討を行い、助言や開発・研究の可能性を探ります。

##### ② 研究成果の資料送付

本学の教員の研究成果(学会発表、執筆論文等)の資料を送付します。また、当該研究に関心がある企業様には、担当教員が相談に応じます。

##### ③ 情報交換会の開催

年に1回程度、本学教員との情報交換会(懇親会)を開催し、共同研究・開発に繋がるような機会を設けます。

##### ④ 人材育成のご相談

会員企業様が求められる人材について、ご助言をいただきながら本学の教育の中でその育成を図るとともに、求人のご相談も受けています。

##### ⑤ 会員企業様向け講演会、セミナー等の開催

会員企業様の希望に応じた講演会やセミナーを開催します。対応が可能な場合は、個別企業様向けセミナーも検討します。また、本学教員や学生による学会発表会、修士論文公聴会及び各学科卒業研究発表会へご案内します。

##### ⑥ 優先的な技術相談、技術指導料の免除

会員企業様のニーズで困難な技術的問題が発生した場合、技術相談により対応します。また、技術指導を希望される場合の指導料は免除します。

##### ⑦ 機器の利用

本学のものづくりセンターの整備機器(3Dプリンタ等)をご利用いただけます。

##### ⑧ 会員企業様のPR

本学100号館内の地域連携センターにパンフレットを設置し、また本学のホームページにも広告を掲載するなどPRを行っています。

#### ◆ 令和4年度総会を書面にて実施

新型コロナウイルス感染防止のために総会は書面により令和4年7月に実施し、前年度の事業報告及び収支決算並びに令和4年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について審議、全て承認、議決されました。

#### ◆ 技術講演会をオンラインで実施

DX化を進めるにあたり、サイバーセキュリティ対策は必須となっています。令和4年度は「サイバーセキュリティ対策」の題名で令和5年3月1日に外部専門家を講師に迎えてオンラインで技術講演会を開催しました。

## 2) 教育活動を通じた連携

共通教育科目「地域連携Ⅰ・Ⅱ」は、①入学当初から学生の主体的取組みをサポート、②学科横断・文理融合型で地域課題に取り組む、③地域の企業やプレイヤーとの共働を柱に2020年より開講されています。「地域連携Ⅰ」は約半年間（6月～12月）かけて課題解決メソッドの修得と、実際の企業課題を教材にグループワークを行っています。令和4年度も企業6社の協力を受けて学生13名、社会人14名でグループワークを実施しました。12月には成果発表を行い、最優秀賞チームを決定しました。



## 3) 地場企業への学生の就労体験

一般的な就労体験ではなく、地元企業等のトップと行動を共にし経営者の考えや日々の業務を身近で体験し、学生のキャリアデザイン形成に役立つ事業として、「社長のかばん持ち体験～社長についてまわる2日間～」を筑後信用金庫と連携して令和4年も実施しました。地場企業6社へ各学科から6名の学生が参加し、成果発表も行いました。



## 4) 自治体との連携

### ◆ 八女市

豊かな地域社会の創造と地域産業の振興発展・産業人の育成を目的に地域課題の解決と地域の活性化を図るため、平成28年2月に包括連携協定を締結しました。これまでに農工連携をテーマに取組を推進し、中山間地域における農業機械の研究開発のため認定農業者との意見交換会を開催するなどして、3種の農業機械器具を開発しました。また、伝統的建造物群保存地区における修理・修景事業の技術支援もしています。

### ◆ 広川町

広川町のまち・ひと・しごと創生総合戦略として、大学等との連携交流事業が掲げられており、この取組として産業振興・人材育成・文化振興等の分野における相互協力による地域の発展と人材育成に寄与することを目的として、平成28年8月に包括連携協定を締結しました。その後、伝統工芸品久留米餅の新技術導入・機器開発・人材育

成の検討、織機部品の製造、小中学校の特別講座・学習ボランティア・体験講座、空き家の利活用の研究などに取り組んでいます。

◆ うきは市

本学とうきは市・筑後信用金庫の三者による連携で、筑後信用金庫の「つなぐ力」のもと、「まち・ひと・しごと」の各分野において、各々の持ち得る資源を有効に活用し、相互連携と協力を行い、地域活力の増進、地域経済の発展等を図っていくため、平成30年11月に包括連携協定を締結しました。それまでにも子ども向け金融・ものづくり教室などのイベントに取り組んできましたが、締結後は、うきは市のまちなみ再生事業への参画を通じて、学生プロジェクトの提案による空き家活用に取り組んでいます。令和4年度は建築・設備工学科の学生集団 ASURA が、①ストリートファーニチャー調査と②ウォークアブル調査の協力をしました。



◆ 久留米市

久留米市の久留米学術研究都市づくりプランの取組みの中で、双方の知的・人的・物的資源を活かして、科学技術・産業振興・環境・教育分野等で連携協力を行い、地域経済の振興発展及び地域社会の活性化に寄与することを目的として、平成18年3月に包括連携協定を締結しました。これまでに、地産地消推進店紹介アプリの開発、中心市街地賑わい創出・環境イベント参加協力、高等教育コンソーシアム、高校生の特設講義、図書館資料の相互貸借、大学若手職員との交流、小学校特別授業と教員研修会の実施、地方創生・産業振興等関係会議参加などの取組を推進し、令和3年12月17日には災害に係る協力体制に関する協定を久留米市と締結しました。

令和4年度は有馬家入城400年を記念したイベントの一つとして、久留米市からの依頼で成田准教授が古地図や小写真から久留米城復元のCGを作製し、広く市民にも公開されました。



## 5-3 地域社会貢献

### (1) 公開講座の開催

令和4年度は、対面による公開講座を実施しました。小学生を対象とした「こども科学教室」や社会人を対象とした「秋季公開講座」などを開講しました。また社会人向けの専門性が高いAI講座も開講しました。

No.	講座名	実施日	テーマ	参加数
1	ちくご子ども キャンパス (親子で参加)	7月24日	タッチセンサを用いた障害物回避ロボットの作製	9組
2			色を塗ってオリジナルの飛行機を作ろう	4組
3			バルーンアーチをつくろう	2組
4			親子で学ぶプログラミング入門講座	9組
5			問題解決ツールとしての算数	3組
6			超音波センサーを用いた障害物回避ロボットの作製	8組
7			羽をパタパタ動かしながら、まるで鳥のように飛ぶパタパタ飛行機を作ろう	11組
8			自分が好きな読書コーナーを作りましょう	1組
9			小学生からのプログラミング入門講座	3組
10			100円ショップにあるもので回るおもちゃを作ろう	4組
11	秋季公開講座	10月29日	建物はどう壊れるのか	6名
12		11月20日	現代に蘇る幻の久留米城（本学、久留米市、久留米高専共催）	60名
13	社会人公開講座	12月11日	ロボットマニピュレータの制御とAI画像認識による応用	5名



## (2) 高校生の大学授業体験の支援

高校生を対象として本学又は高校へ出向いて、大学教育の一端を体験していただくことを目的とした体験学習を実施しています。

### 1) 一日大学生

高校生が大学教育を模擬体験：随時開催、2校51名参加

### 2) 大学訪問

高校側の希望によって主要施設の見学と説明を実施：随時開催、4校213名が参加

### 3) 出前講義

本学教員が高校へ出向き、授業を実施：随時開催、1校35名が参加

### 4) 高校生ロケットコンテスト大会

高校生に手作りによるモデルロケットを開発・製作してもらい、実際に打上げる：5校22名参加



## (3) 理科学教育支援

### 1) 「青少年のためのサイエンスモール in くるめ」の講座担当

「コンソーシアム久留米」では毎年小学生～高校生を対象とした体験講座を開催しています。令和4年度は3年ぶりに対面で「デジタルコンテンツであそぼう」のテーマで講座を担当しました。

### 2) 夏休みの小学生への学習支援

「コンソーシアム久留米」の「小学生と大学生のふれあい教室」で、夏休みの小学生の学習支援を3日間実施し、本学からは6名の学生が参加しました。

### 3) 久留米市と広川町の教育委員会との連携

#### ●小中学校でのインターンシップ

教育創造工学科の2年生が小中学校の実際の教育現場を体験することによって学校教育への理解を深め、教職へのモチベーションを高めることを目的に実施しています。教育実習と異なり、先生をサポートしながら校務全般を体験しています。

#### ●放課後学習支援ボランティア（延べ49人参加）

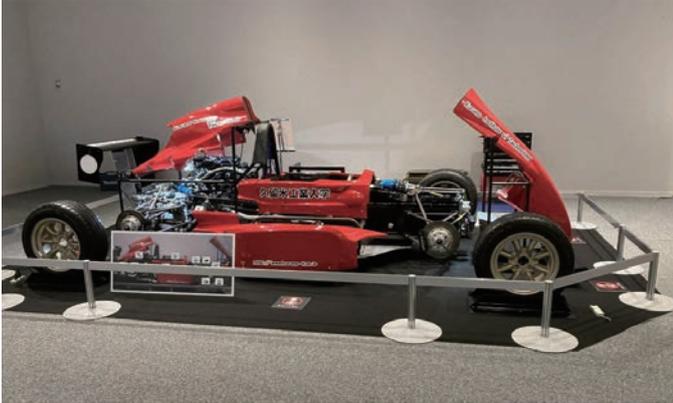
久留米市と広川町の小・中学生を対象に、放課後授業の復習や宿題などの補充学習をサポートしています。



## (4) 子供の科学への興味の醸成

### 1) 全国で展開する「スケスケ展」に協力

子供の科学への興味を育てるため、様々な生物や物の中身を『スける（透る）』を通じて紹介する特別展に本学の梶山助教が「ノリモノや様々な機械に用いられる機構」を担当し、本学所有の実験車（フォーミュラカーと自動車部品模型）の展示・解説をしました。令和4年度は沖縄県立博物館・美術館（7月～9月）と北九州市科学館（10月～1月）で開催しました。



### 2) 久留米工業大学SKY Festa開催（10月16日）

本学の航空宇宙の専門家が航空宇宙の最新的话题を小学生から市民まで優しく解説し、航空宇宙実験等の公開やフライトシュミレーター体験、宇宙飛行士トレーニング教室を開催しました。

ご家族みんなで、楽しい1日！  
 久留米工業大学 SKY Festa 2022. 10/16日  
 10:00 - 15:00  
 入場 無料  
 イベント！  
 ・航空宇宙実習の公開  
 ・プライマリ・グライダーとライトプレーンの公開  
 ・宇宙飛行士トレーニング教室  
 ・ミニドローン体験教室と大型ドローン飛行体験  
 ・模型ロケットデモフライト  
 ・航空宇宙講演会(12:30-13:10予定)

## (5) 第3セクターや久留米市と連携して中心市街地活性化へ協力

### 1) くるめ光の祭典（12月～2月）に協力

中心市街地をイルミネーションで飾る光の祭典で工藤研究室がイルミネーション+ねこ！のオリジナルキャラクター「いるみねーこ」と戯れられるARアプリケーションを開発し、展示に協力しました。

第18回 くるめ光の祭典 HOTOBIKI FANTASY  
 いるみねーこ  
 2022/12/17(土) - 2023/2/19(日)  
 場所: 久留米市中心市街地 (西鉄久留米駅東口広場・明治通り)  
 点灯時間: 17:00 - 24:00  
 12/17(土) 16:45～ 直前お披露目会 開催  
 久留米シティプラザにて

### 2) KIT EXPO 2022開催（8月）

学生集団「ASURA」により、中心市街地の六角堂広場で、学生作品の展示と市民へ無料のドリンクをふるまい、4日間で400人の来客がありました。



## (6) 地域の団体の求めに応じて学生がものづくりで支援

### 1) 「川の駅」プロジェクト

学生集団 ASURA、久留米市、DIY MAGAZINE が協力し、田主丸地区の「川の駅」を改装し、地域のブランディングプロジェクトを展開中。地域住民と漆喰塗り体験を行い、計画全体の説明会を開催しました。10月には、久留米市から招待受け、プロジェクトの基本構想を「未来創造フォーラム」で講演しました。



### 2) 蔵々まつりへ出展

鹿島市肥前浜宿の伝統的建造物群の活用を支援するために、古民家を日本酒を楽しむことができる施設として設え、建物活用例の展示や、各種フライヤー・ポスター制作、酒器・日本酒等のチョイス、接客を行いました。



## (7) その他の地域貢献活動

### 1) 学生防犯ボランティア「輪導」

学生29名が登録している「輪導」は福岡県防犯協会上津地区の依頼に応じて毎月5日と25日には上津小学校区の夜間パトロールを実施しています。令和4年度は学生ボランティアサミットにも参加しました。

